

科目名		授業形態	担当教員名	
社会福祉学		講義	岡本 正平	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
24 時間（1 単位）		12 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
福祉・医療・保健の連携の重要性の中で、「ノーマライゼーション・リハビリテーション」理念を基礎に、知識としての「社会福祉学」を単に制度・サービスの紹介・説明にとどまらず、事例を採り入れ、できるだけ身近なものとする。 社会福祉関連法規、制度について理解を深め、援助者としての援助観・援助方法も併せて学習することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 社会保障制度の歴史と考え方を説明できる。 2. 社会保障制度の体系と意義を説明できる。 3. 障害者の自立を支える制度の内容を説明できる。 4. 介護保険制度について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	総論：社会福祉を学ぶこととは			
2	概論Ⅰ：社会福祉の歩みとキーワード(地域福祉他)			
3	概論Ⅱ：社会福祉の近年の動きと社会福祉関連法及び施設機関並びに福祉人材（専門職）			
4	社会保障制度Ⅰ：基本的な考え方他			
5	社会保障制度Ⅱ：社会保険制度及び生活保護制度			
6	児童福祉：児童をとりまく現状及びその制度とサービス			
7	障害者福祉Ⅰ：現状とその捉え方			
8	障害者福祉Ⅱ：制度とサービス			
9	高齢者福祉Ⅰ：高齢者社会の現状			
10	高齢者福祉Ⅱ：要援護高齢者と介護問題			
11	高齢者福祉Ⅲ：老人福祉関連法（介護保険法を除く）他			
12	高齢者福祉Ⅳ：介護保険制度			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	社会保障全般にわたる理解内容を評価基準とする。		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
よくわかる社会福祉 第11版	山縣文治他 編	ミネルヴァ書房		
自由記載	レジュメ・講義(参考)資料を配布する。			
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				